

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年06月10日(木)

事務事業		国民健康保険給付運営事業		担当課	花園市民生活課	担当係	市民係	管理番号	3186
第2次総合計画					事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <div style="margin-left: 20px;"> 対象拡大 有<input type="checkbox"/> サービス拡充 有<input type="checkbox"/> </div>			
	行計画	大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）		根拠法令 個別計画等	国民健康保険法 深谷市国民健康保険条例 深谷市国民健康保険に関する規則 国民健康保険税条例 国民健康保険税規則			
	分計画	中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
	分野策別名	小項目	200003 行財政運営の推進						
事業概要		国民健康保険法及び市条例等に基づき、被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して、事務を本庁に取次ぎするほか、高額医療費等を支給する。							
目的 ※何のために		国民健康保険被保険者の医療費等の支給することにより国民健康保険事業の安定的な運営							
対象 ※誰・何を対象に		国民健康保険被保険者							
手段 ※どのように		国民健康保険被保険者からの申請に基づき、医療の給付、医療費等の支給、予防・健康増進の実施、国民健康保険税の減免等を行う。							
成果 ※何を求めるか		国民健康保険被保険者の健康と安心を確保するとともに、国民健康保険事業の安定的な運営を図る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を構成する予算事業		会計区分	款		項		目	細事業名	前年度決算額（円）
			00		00		00		0
			00		00		00		0
			00		00		00		0
			00		00		00		0
			00		00		00		0
本事業の主な業務		・ 高額療養費申請書受付・審査				・ 医療費一部負担減額申請、免除申請受付・引継			
		・ 限度額適用認定証等の受付・交付				・ 人間ドック、脳ドック健診受付・審査・決定・交付・入力			
		・ 第三者行為受付				・			
		・ 療養費の受付・引継				・			
		・ 入院時食事療養費の受付・引継				・			
		・ 出産育児一時金、葬祭費申請受付・引継				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画						
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.43	0.43	0.63	0.46	0.59
	人件費相当試算 ※1	3,344,970	3,346,260	3,380,230	5,125,680	3,742,560
		0	0	0	0	0
	（総事業費試算）	3,344,970	3,346,260	3,380,230	5,125,680	4,800,240

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	国民健康保険給付運営事業	担当課	花園市民生活課	担当係	市民係	管理番号	3186
<div>■ ① 現状のまま継続 □ ② 見直して継続 □ ③ 拡充・重点化（コスト投入） □ ④ 目的達成による終了 □ ⑤ 廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討 □ 成果向上のための改善 □ 効率化のための改善 □ 事業規模の縮小 □ 他の事務事業と統合</div>				<div>評価の内容説明</div> <div>申請に基づき、適正に業務を進めることができた。 引き続き市民の利便性を確保するため、「①現状のまま維持」とした。</div>			
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？				評価者	花園市民生活係長 島田久一		

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	
--------	--

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	
-------	--

9. 評価指標グラフ

